

# かこはえ

第60号

発行日 平成29年8月15日  
発行 公益社団法人  
遠野市シルバー人材センター  
広報編集委員  
遠野市青笹町糠前9-7-  
電話0198-62-057

平成二十九年度

## 定期総会開催

日時 五月二十六日（金）十時  
会場 J Aとおのライフサービス生活センター

公益社団法人遠野市シルバー人材センターの平成二十九年度定時総会が五月二十六日午前十時からJAとおのライフサービス生活センターで開催されました。

留場榮一副理事長が開会を宣言し、続いて佐々木明敏理事長からの挨拶が行われた後、理事長から継続在職七年以上であり役員でもある十一班の藤田一男さんに感謝状が贈られました。続いて在籍十年以上の会員十名の方々に表彰状が贈られ、代表して第二十班の多田良作さんが授与されました。

その後、本田敏秋遠野市長様、新田勝見遠野市議会議長様、照井安保釜石公共職業安定所遠野出張所長様、工藤勝子岩手県議会議員様からのご祝辞をいただきました。

続いて仮議長である佐々木理事長から定足数の確認報告が述べられ、総会が有効に成立する旨の報告がなされました。

先ず、平成二十八年度の当センターの会計及び業務の監査結果が、高木一監事から報告があり、了承されました。次に、報告事項一号から五号まで提案され、いずれも原案通り承認。続いて議案に入り、第一号議案から第六号議案の全てが満場の拍手で議決されました。



○表彰者紹介○  
役員表彰（継続左）

正会員表彰（在籍十年以上）

一班	九班	十班	十五班	十六班	十六班	十六班	十八班	二十一班
(材木町)	(附馬牛町)	(松崎町)	(青笹町)	(上郷町)	(上郷町)	(上郷町)	(宮守町)	(鰐沢町)

●理事長挨拶要旨●

我が国は既に人口減少社会に突入し、いかにして労働力を確保していくかという大きな課題に直面している。

る方々の活躍を推進することが必要であり、高年齢者の活躍が労働供給の面から重要なとの認識のもと、就労環境等について分析し、労働力不足の解消に向けた対策や量的な確保、限られた人材が能力を発揮することも重要であるとしている。

このような状況下にあり、受託事業においては、ここ五年間で最高となる六千万円に迫る契約額となつた。労働者派遣事業においても間近の三年間は順調に推移してきている。

これもひとえに遠野市をはじめ関係機関、市長のご理解とご協力の賜物と感謝を申し上げる。勿論会員各位の地道な日々の積み重ねの努力の成果であり大きな誇りである。

との挨拶が述べられました。



○報告〇	監事の報告 (平成二十八年度会計及び業務の監査について)
○報告事項〇	第一号報告 平成二十八年度補正予算について
第二号報告	事務費率を十五%に変更したことについて
第三号報告	平成二十九年度事業計畫について
第四号報告	平成二十九年度収支予算について
第五号報告	平成二十九年度資金調達及び設備投資の見込みについて
○議題	
第一号議案	平成二十八年度事業報告について
第二号議案	平成二十八年度收支決算について
第三号議案	定款の一部を変更する定款の制定について
第四号議案	役員等の報酬等及び費用に関する規程の一部を改正する規程の制定について
第五号議案	理事の選任について
第六号議案	監事の選任について



新役員紹介

高山菊 藤菊 山菊 菊木 菊菊 菊 佐  
々  
木口池 田池 蔭池 池下池 池池 木

清永優長和民由 善睦 明

# 一孝菜一悦子彌明隆悦子攻敏

（五班）十八班十二班十八班  
（四班）九班十六班二十六班十三班九班  
（三班）一班十一班远野市班

総務委員会

委員長

菊池

（副理事長）

攻

委員

木下

（副理事長）

隆

委員

菊池

（広報編集委員会委員長）

民彌

委員

菊池

（安全衛生管理委員会委員長）

由明

安全衛生管理委員会

委員長

菊池

（安全衛生管理委員会委員長）

民彌

沼村

里上

田睦

ヤ平エ

一子彌

康

優

一子彌

沼村

里上

田睦

ヤ平エ

一子彌

沼村

里上</p

# 広報60号 記念特集 駅前さらん 「銀」は今?

昨年の12月1日、遠野市シルバー人材センター設立三十周年を目前に開所した駅前さらん「銀」。

多くの会員の関心を集め、また、協力を得ているこの事業は、間もなく開業8か月を経過しようとしています。

今回、広報編集委員会では、初の試みとしてこの「銀」にスポットを当て、その現状と課題、展望について考えます。

## 「銀」にシルバーパワーの発揚を期待

### 駅前さらん「銀」の誕生

この事業は、国の地域就業機会拡大・創出事業として採択され、国と市による三年を目処とする補助事業です。

昨年九月の内定を受けて、シルバーでは市等関係機関・団体との連携調整を進め、十月に一般市民を含む事業運営委員会を設立。名称をはじめ店舗構成、運営について検討し開所の準備を進めてきました。

### 「銀」の目的と期待

高齢化から超高齢化社会に突入した遠野市。同時に過疎化の進行も著しく、シルバーへの期待は高まりつつあるのが現状です。

「銀」は、この期待に少しでも応えるため、会員の手作り品の販売、市民交流などを展開し、地域の活性化に資することを目的としています。また、このことを通じて市民の要望などを把握し、今後のシルバーの活動に反映することも期待されています。

### 課題は山積

「銀」の運営は初めての事業もあり、当然課題は多く、年額二百万強の予算で施設費をはじめ諸費用をまかなうことには困難があります。まさに、困難を抱えての船出となっています。

しかし、収支は安定微増の傾向にあり、市民人気の野菜類もこれからが旬となることから期待が持たれます。さらに、八月以降は二階を利用しての、子供から一般までを対象とする講習・講座・体験教室の取り組みを始め、利用の促進に努めることとしています。

### 今後の展望は?

「銀」は、遠野市シルバーの活動が次のステージに向うためには必要不可欠な事業で、すでに開業以来六月末までに延べ二百三十人強の会員が事業に参画。その熱意が事業展開の後押しとなっています。

糸余曲折を経ながらも小さな努力を積み上げ、行政、各種団体、市民との一層の連携を図り、さらに発展するよう、いまこそシルバーパワーの発揚が期待されています。

(取材 木下 隆)

### 「銀」を拠点にし、全国へ発信

六月末から七月初めに店を訪れ利用者の声を聞きました。自分の感想も交え皆様にお届けします。

まず、多くの方々が店がわかりにくいとの事でした。突き出し立て看板が欲しいところです。土日月以外の営業日の拡張、野菜等の鮮度を保つ対策等の声もありました。店内には野菜等の地場産品、手作り工芸品、古書等が並べられており、品質、価格とも好評で、特に野菜山菜が人気で売り切れる事も。急ぎでなければ取り寄せられる品もあります。車でお越しの方は、三十分無料の駐車場が向かいにあります。車でお越しの方は、三十分無料の駐車場が向かいにあります。車でお越しの方は、三十分無料の駐車場が向かいにあります。

品揃えはシルバーの店としての特徴をもつと出してもいいのでは。例えば古民具、手作り納豆等々。また、店には会員の方が交代で二名ずつ当番をしています。皆さん明るく気さくで「銀」を盛り上げて行こうという気持ちが伝わってきました。観光客には会えませんでしたが、お客様との会話も弾み市民交流の場としても十分機能すると思われます。

終わりに遠野のシルバー世代ならではの物品を掘り起こし、「銀」を拠点に全国に発信できないものかと聞こえたのは私の空耳だったのでしょうか。

(取材 北湯口 健)

# 遠野市のまちづくり担当の千田部長さんに聞いてみました。

一 まちなかに賑わいがなくなつたのはなぜか

全国どこでも言えるが第一にはバイパスができて、大規模な店舗ができたこと。

そのことによつて買い物客が移動したこと。次にはお客様の減少で商売が成り立たず、後継者が育たず、高齢化が進み、店を閉じるケースが増えてきたこと。

二 賑わいを取り戻すために遠野市が取り組んできたことは何か

ハード面では、遠野病院跡地利用の大規模商業施設「とぴあ」、交流拠点としてあえりあ遠野、下一日市区画整理事業、駅前再開発事業、そして間もなく完成する遠野市庁舎整備等である。

三 賑わいを取り戻すためにはこれから何をするのか

空き店舗対策である。空き店舗がどのような状況なのかを調査して、活用方法を検討したい。

また、活用できるとしてもトイレ等改修が必要になるケースが多いと思う。

四 改修等の費用の助成はあるか

遠野市は無いが、商工会には助成制度がある。

五 シルバー人材センターで取り組んでいる「銀」について

いろいろな意味で「銀」の意義は大きい。賑わい創出、生きがい対策、空き店舗活用等、とてもいいことであり大いに評価している。

六 「銀」に期待することはなにか

今後同じようなことをする方々へのいい手本としての活動や活躍を期待している。



(取材 菊池 長悦)

## 店舗従事者、山蔭事業運営委員長に聞く

山蔭さんは「さろん「銀」が開所して、一年もたたない期間ですが、会員との交流、情報交換ができる、今後、シルバー人材センター活動の「スキルアップ」が期待出来る」と話しておりました。

また、市民交流の場として、若い人から日中一人暮らしの方々や、高齢者の方々が気軽に立ち寄れる場所にと心がけているようです。

冬休み、夏休み中の子供たちに、会員さんが昔経験した工作や、昔の遊びの体験を、講師として教えること出来る場等を検討したい。

課題として、出品会員の商品の工夫がありそうです。量が多い、安からうではなく。例として100円で三点組等。少数家庭用カレーセット（玉ねぎ、人参、ジャガイモ）の工夫をするなど。商品の例としては、塩漬け、イナキビ、米粉、漬物、大豆、小豆、乾燥椎茸、白菜、大根、ニンニク、紫玉ねぎ、ピーマン、ほうれん草、花などたくさんあります。



現在八人で運営しています。運営時間等において、当番の方からの要望がありました。現在午前十時～午後四時ですが、午前十時～午後五時にしてはどうか。また週三日ですが、週四日も良いのではないか。

今後も、いろいろな方々からご意見・ご要望をいただき事業運営にあたつてゆくことなど課題も沢山あると思いました。

(取材 菊池 秀昌)



# たかむろ水光園

## ボランティア活動開始

四月十三日（木）水光園ボランティア活動が開催されました。朝から肌寒いこの日は、ゴールデンウイーク前に、環境整備を行い、観光客をお迎えしようという趣旨です。参加会員は四十六名でした。活動内容は、剪定・枯草刈。落ち葉や木の枝拾い。園路等の清掃（道路上に堆積した土砂など除去）の三班編成で予定通り行われました。

（取材 菊池 秀昌）



恒例の参加者全員による記念撮影

## 普通救命講習終る

大丈夫ですか？

一時救命処置  
(心配蘇生とAED)  
※AED：  
自動体外式除細動器



七月二十日（木）普通救命講習が、シルバー人材センターで開催されました。参加会員は二十七名。真剣な眼差しで講習を受けておりました。講習終了後に修了証が渡されました。

# 会員の広場

## 会員の声

八班（小友）

菊池 ミネ



平成二十六年の四月からシルバー人材センターに入り、草刈りの仕事に加わっています。その間に草刈りの修了証書をもらったりと、最初は心配でしたが、とにかく草刈りが好きだから楽しくて仕方がないです。それに、家にいると一人なもんで、皆と休み時間には色々な世間話したり、就業場所は知らない場所へと行つたりするので、地域が分かってきます。でも、何回行つてもわからぬ所があつて、一緒に働く会員さんの車の後を追っています。

いつまでも続けられるよう頑張ります。よろしくお願ひします。



：

はじめまして。この度、広報編集委員を嘱託されまし北湯口です。微力ながらもベストを尽くすつもりです。宜しくお願ひ申し上げます。

今回は襖・障子張り作業をされている藤田良二さん（附馬牛町・七十二歳）にスポットを当て、七月十四日、作業場である会議室Bにおじやました。工程は大別すれば紙を剥がした襖・障子を水洗いし、乾かし、新しい紙を貼るだけですが、一つの作業には、細かい技が求められるようです。糊の渴き具合や、水で伸ばした時の紙の伸び代を考えて切る寸法や、天候に左右される様々な作業もあるようです。

良二さんの元の本職は宮大工で福泉寺の五重の塔や今の盛岡の盛岡八幡宮拝殿等の建造に携われた方です。後者は棟梁でした。シルバー歴八年、時々頼まれた手伝いの中での中で身につけた襖張り、障子張り歴五年。「屋根の反り一ミリの誤差に神経をすり減らす宮大工よりまつすぐだけの今の仕事は気が楽」と笑っていました。

忙しくない時は刃物研ぎの仕事もされるようですが、話を伺つている最中にもご指名の仕事依頼が入りました。休みなく動いている慣れた手つきを見ながら作業所を後にしました。良二さんおじやましました。

## おじやまします



2017/7/19 14:51



（取材

北湯口

脩

## 今後の予定

10月7日8日 遠野市産業まつり

10月下旬 鍋倉ボランティア

11月上旬 除雪機出発式

## お知らせ

### 駅前さろん「銀」従事会員募集

仕事内容：販売店員（商品管理・販売）

就業日：土・日・月・イベント時

就業時間：10:00～16:00

詳しくは事務局まで

## 新入会員の紹介

畑山	佐々木	恩徳	藤原	太田	松田
善清	芳繁	一脩	一弘	英二	英雄
彦十五	夫十三	班（鶯崎町）	班（上組町）	班（達曾部）	班（東館町）
（青笹町）	（松崎町白岩）				

平成二十九年一月から平成二十九年七月十五日までに入会された方々です。よろしくお願ひします。（敬称略）

## 会員募集

皆さんのご近所に「この人なら会員にふさわしい」と思われる方はおりませんか？毎月十日、二十五日（土・日・祝日は翌日）の午後一時三十分から入会希望者のための説明会を行っております。（入会するためには必ず説明会を受講して頂きます。）

「シルバー人材センターはどのようなところなの？」「どんな仕事をあるの？」といつた質問などお気軽に尋ねください。

●広報「ひこばえ」は、今号をもって発刊六十号の大台を迎えることとなりました。

この期にあたり、これまでに多大なご尽力を賜った先輩諸氏に深く感謝し、また、支えて下さった会員の皆様、事務局の皆様には心より御礼を申し上げます。

●過日開催された第一回広報編集委員会では、とりあえず今号と次号で新企画として「特集」着手を決定。ご覧のとおり今号は「さろん銀」といふ題名で、委員一同張り切つております。

●ご承知の通り広報「ひこばえ」は年二回の発行であり限られた紙面ですが、出来る限り近々の話題や会員交流、情報の提供に努めたいと、委員一同張り切つております。

●広報は皆様の広報です。より親しまれる紙面づくりに引き続きご意見、ご提言をお願い致します。